

平成27年度12月補正予算の概要

1 補正予算の編成の考え方

今回の補正予算については、復興・再生に向け直面する課題に対応するために必要な経費のほか、平成27年9月関東・東北豪雨により被災した施設等の復旧に向けた経費など緊急に措置すべき予算を計上する一方で、事業計画の見直しなどに伴う事業費の調整をはじめ事業の進捗に基づく予算の整理を行った。

2 一般会計補正予算（第5号）の概要

（1）補正予算の規模

歳入については、市税、国県支出金、繰入金などを計上し、歳出は上記の考え方に基づき計上した。

この結果、補正額 10,574,441 千円を追加し、補正後の一般会計歳入歳出総額が 108,351,244 千円となった。

（2）主な補正内容

最重点方針1「復興事業の優先的実施」	
除染の推進 防火水槽除染事業（P20） （土砂の堆積量・放射線量が一定基準を超えた防火水槽16基の除染を実施）	23,438千円
除染の推進 生活圏除染事業（P14） （除染着手地域が予定より増加したことに伴う委託料の増額）	7,886,917千円
農業の再生と振興 農山漁村地域復興基盤総合整備事業負担金（P16） （県営農山漁村地域復興基盤総合整備事業工事面積増による市負担金の増額 原町東地区）	88,425千円
その他 新津波被災地立竹木等撤去事業（P18） （ほ場整備区域内（八沢・右田海老・真野・原町東）の立木等残留物の撤去を実施）	99,962千円

最重点方針 2 「避難指示区域の再生」	
<p>生活環境の整備</p> <p>医療施設生活環境整備事業（P16） （避難指示区域の医療機関再開に向け、施設の清掃等を実施（新規1件、業務追加1件））</p>	1,830千円
<p>生活環境の整備</p> <p>保健福祉センター生活環境整備事業（P16） （小高保健福祉センターの再開に向け、施設修繕等を実施）</p>	5,731千円
<p>生活環境の整備</p> <p>新 帰還準備旅館宿泊支援事業（P18） （市外避難者の帰還準備を支援し、帰還促進を図るため、小高区内の旅館を借り上げて宿泊場所を提供）</p>	1,310千円
<p>生活環境の整備</p> <p>小高区小中学校再開事業（P20） （小高小学校及び小高中学校の再開に向け、施設修繕の実施及び学校備品を整備）</p>	71,060千円
重点方針 1 「地域の絆づくりと安心生活の再生」	
<p>だれもがスポーツを楽しめる環境の充実</p> <p>旧真野小学校体育館改修事業（P12） （平成28年4月施設一般開放に向け、施設備品等を整備）</p>	5,545千円
<p>その他</p> <p>防災備蓄倉庫整備事業（P20） （防災備蓄倉庫整備のため、建築面積・規模等の基本設計を実施）</p>	1,512千円
<p>その他</p> <p>避難所看板等整備事業（P20） （緊急時の住民の安全、安心を確保するため、55施設に避難所看板を設置）</p>	22,900千円

重点方針3 「若い世代の定住の促進」

<p>農業の再生と振興</p> <p>新 機構集積協力金交付事業 (P16) (農地中間管理機構を通じて担い手への農地集積・集約化に協力する地域に対して機構集積協力金を交付 高平・上太田・高地区)</p>	<p>91,515千円</p>
<p>農業の再生と振興</p> <p>農業担い手経営革新支援事業補助金 (鹿島区)(P16) (地域農業をけん引するプロフェッショナル経営体創出支援のため、制度資金の融資を受け、計画に基づき規模拡大等をする際に必要な経費の一部を補助 鹿島区：認定農業者 2件)</p>	<p>15,032千円</p>
<p>その他</p> <p>ふくしま復興特別資金等信用保証料補助金 (P18) (市内中小企業者の負担軽減と経営安定に資するため、信用保証料の一部を助成 (申請件数増加に伴う補助金の増))</p>	<p>11,886千円</p>
<p>平成27年9月関東・東北豪雨被災関係</p>	
<p>現年発生公共災害復旧事業 (農地農業用施設)(P22) (台風第18号及び第17号による大雨により被災した農地・農業用施設の復旧を実施 小高区：農地1か所、鹿島区：ため池1か所)</p>	<p>22,700千円</p>
<p>現年発生公共災害復旧事業 (林業施設)(P22) (台風第18号及び第17号による大雨により被災した林道施設の復旧を実施 鹿島区：2か所)</p>	<p>14,000千円</p>
<p>現年発生公共災害復旧事業 (P22) (台風第18号及び第17号による大雨により被災した道路施設の復旧を実施 原町区：2か所)</p>	<p>10,000千円</p>

新は新規事業

(3) 継続費の補正

(追加)

(単位：千円)

款	項	事業名	総額	年度	年割額
9 消防費	2 東日本大震災消防対策費	避難所看板等整備事業	83,299	平成27年度	48,928
				平成28年度	34,371

(変更)

(単位：千円)

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
8 土木費	6 東日本大震災土木対策費	(仮称)小高区内集合災害公営住宅整備事業	643,743	平成25年度	5,581	662,743	平成25年度	5,581
				平成26年度	382,229		平成26年度	382,229
				平成27年度	255,933		平成27年度	274,933

(4) 繰越明許費の補正

(追加)

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
6 農林水産業費	5 原子力災害農林水産対策費		579,640
		ふくしま森林再生事業	579,640
			579,640

(5) 債務負担行為の補正

(追加)

(単位：千円)

事項	期間	限度額
防犯カメラシステム設備借上料	平成28年度から 平成32年度まで	事業者との契約額

(6) 地方債の補正

(追加)

(単位：千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
21 現年発生公共土木施設補助災害復旧事業	3,300	証書借入 又は 証券発行	年3.0%以内 (ただし、利率見直し 方式で借り入れる資金 について、利率の見直 しを行った後において は、当該見直し後の利 率)	融資条件の定めのある資金 については、その融資条件に より、その他の資金について は相手方との協定によるもの とする。 ただし、繰上償還をし、償 還年限を短縮し、又は低利債 に借り換えることができるもの とする。
22 現年発生農地農業用施設補助災害復旧事業	7,200			
23 現年発生林業施設補助災害復旧事業	4,900			
24 現年発生農地農業用施設小災害復旧事業	3,100			
25 現年発生林業施設小災害復旧事業	6,400			

(変更)

(単位：千円)

起債の目的	補正前				補正後			
	限度額	起債の方法	利率	償還の方法	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
4 社会資本整備総合交付金事業	105,300	-	-	-	45,700	-	-	-
6 常磐自動車道整備促進事業	28,300	-	-	-	21,600	-	-	-
10 災害公営住宅建設事業	849,000	-	-	-	863,600	-	-	-

【参考】主な基金の状況

財政調整基金

(単位：千円)

H 26末残高	積立額			取崩額			H 27末残高 見込み
	補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
3,542,386	29,404	0	29,404	189,234	0	189,234	3,382,556

東日本大震災復興交付金基金

(単位：千円)

H 26末残高	積立額			取崩額			H 27末残高 見込み
	補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
12,785,777	1,080,808	0	1,080,808	6,287,223	60,860	6,348,083	7,518,502

東日本大震災復旧・復興基金

(単位：千円)

H 26末残高	積立額			取崩額			H 27末残高 見込み
	補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
12,319,288	586,489	298,239	884,728	2,257,806	754,137	3,011,943	10,192,073

帰還環境整備交付金基金

(単位：千円)

H 26末残高	積立額			取崩額			H 27末残高 見込み
	補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
0	664,800	1,541,909	2,206,709	332,400	67,541	399,941	1,806,768

3 特別会計補正予算の概要

簡易水道事業特別会計（補正第2号）

水質管理に係る経費の補正を行うもので、補正額 647 千円を追加し、補正後の歳入歳出総額が 207,224 千円となった。

亜炭鉱害復旧施設維持管理事業特別会計（補正第1号）

施設管理に係る経費などの補正を行うもので、補正額 1,890 千円を追加し、補正後の歳入歳出総額が 25,454 千円となった。

農業集落排水事業特別会計（補正第2号）

事業執行による予算整理などの補正を行うもので、補正額 52,444 千円を減額し、補正後の歳入歳出総額が 438,288 千円となった。

工場用地等整備事業特別会計（補正第3号）

信田沢工業団地管理に係る経費などの補正を行うもので、補正額 8,808 千円を追加し、補正後の歳入歳出総額が 568,856 千円となった。

宅地造成事業特別会計（補正第1号）

事業執行による予算整理の補正及び継続費年割額の変更並びに事業の財源更正を行うもので、補正額 85,826 千円を減額し、補正後の歳入歳出総額が 785,639 千円となった。

継続費補正
(変更)

(単位：千円)

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
1 宅地造成事業費	1 造成事業費	宅地造成事業	1,082,515	平成27年度	871,465	1,036,697	平成27年度	785,639
				平成28年度	211,050		平成28年度	251,058

水道事業会計（補正第2号）

収益的支出で、水質管理に係る薬品費の補正を行うもので、補正額 6,934 千円を追加し、補正後の支出総額が 998,176 千円となった。

病院事業会計（補正第1号）

収益的支出は、脳卒中センター建設費減額に伴う資本的収支分控除対象外消費税などの補正を行うもので、補正額 75,013 千円を減額し、補正後の支出総額が 4,667,311 千円となった。

資本的支出は、脳卒中センター整備事業に係る継続費の設定期間延長に伴う年割額の変更などの補正を行うもので、補正額 1,593,401 千円を減額し、補正後の支出総額が 2,965,880 千円となった。

継続費補正
(変更)

(単位：千円)

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
1 総合病院 資本的支出	1 建設改良費	脳卒中センター整備事業	4,839,508	平成25年度	40,240	4,839,508	平成25年度	40,240
				平成26年度	2,424,414		平成26年度	2,424,414
				平成27年度	2,374,854		平成27年度	936,576
							平成28年度	1,438,278

下水道事業会計（補正第2号）

収益的支出で、脱水污泥運搬・処分開始に伴い、脱水污泥袋詰め及び保管費用の整理などの補正を行うもので、補正額 7,935 千円を減額し、補正後の支出総額が 1,684,095 千円となった。